

小学校 6 年生の皆さん及びその保護者の皆様へ

市立札幌開成中等教育学校長 宮田 佳幸

皆様、こんにちは。

市立札幌開成中等教育学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本来であれば、学校説明会を開催し、皆様の前でお話をさせていただく予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症による様々な行動制限が行われており、書面にてお話をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、開成中等教育学校の受検を考えている小学校 6 年生の皆さん及び保護者の皆様へ、学校のことを少しだけ紹介したいと思います。

小学校 6 年生の皆さんは、何か疑問がわいてきたとき、それをどのように解決しますか。そのままにしておくという人もいるかもしれませんが、本校では、その疑問そのものを解決していくことはもちろん、どのようにその疑問を解決していくかといった方法も身に付けていきます。この方法は、将来、皆さんが大人になったときにも通用するものです。

では、その疑問をどのように解決していけばいいのでしょうか。「どうすればできるのかな?何でこうなるんだろう?」ということを掘り下げいき(探究)、実際に自分でやってみたりみんなの意見を聞いてみたりして(行動)、「もっとよくするにはどうしたらよいのだろうか?」(振り返り)といった新たな疑問をさらに掘り下げていくといった「探究—行動—振り返り」の学習サイクルを用いて、難しい言葉ですが、自立した学習者を目指していきます。

自立した学習者とは、自ら課題を発見し生涯にわたって学び続ける力を持ち、自己を肯定し多様な価値観を認めあう姿勢をもち合わせ、未知なるものに挑戦し自ら道を切り拓く勇気がある人のことを指します。

そのための学びが開成中等教育学校にはあります。ぜひ、開成中等教育学校で皆さんが今もっている力をさらに大きくし、自立した学習者となってほしいと思います。

改めまして、保護者の皆様におかれましては、開成中等教育学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校では、先の自立した学習者を育てるため、認定を受けております国際バカロレアのプログラムを活用し課題探究的な学習に取り組んでおります。また、4年生からの後期課程では、理科・数学・英語の専門学科であるコズモサイエンス科として、豊かな科学的教養や論理的思考力、コミュニケーション重視の英語力を身に付けることを目指しており、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定により、海外も含めた大学や企業等との連携による多様な「ほんもの体験」を重視する課題探究的な学習に取り組んでいます。さらに、物事を「自分ごと化」することから生徒たちの主体性を育む本校独自の理念をSELF(セルフ)と名付け、主体的に挑戦しようとする場面では、必ず挑戦の結果まで体験するということを大切にしています。

ぜひ、本校の教育活動にご理解をいただき、お子様の将来の選択肢の一つとしていただければ幸いです。